

# スマートフォンアプリ「myThings」が「Yahoo!防災速報」と連携

～ 「『地震情報』が通知されたら自動で電気やテレビをつける」  
「『津波予報』が通知されたらIoT製品がしゃべってお知らせ」  
など、  
災害時にも「myThings」の活用シーンが拡大～

<http://mythings.yahoo.co.jp/>

ヤフー株式会社のスマートフォンアプリ「myThings」は本日、同社が提供する災害情報や非難情報をいち早くお知らせするサービス「Yahoo!防災速報」と連携を開始しました。「Yahoo!防災速報」で提供している情報のうち、「地震情報」と「津波予報」から連携を開始し、今夏には「熱中症情報」も利用できるようになる予定です。

「myThings」は、IoT製品やWEBサービスの機能を組み合わせて、単体の製品やサービスではできない新しい使い方を、ユーザー自身が生み出せるスマートフォンアプリです。アプリは、さまざまなIoT製品やWEBサービスと連携しており、「外出する際に玄関を閉めたら、消し忘れた家の電気を消す」「動画共有サイトで好みの動画が公開されたら通知する」など、日常生活を便利にする使い方を提供してきました。

「Yahoo!防災速報」との連携により、災害時にも活用シーンが広がり、「myThings」ならではの新しい防災情報の活用方法が実現できるようになりました。



## ■ 「Yahoo!防災速報」との連携概要

「Yahoo!防災速報」は、「緊急地震速報」、「地震情報」、「津波予報」、「避難情報」などの防災に役立つ情報や、ゲリラ豪雨などの急な雨を予測する「豪雨予測」など、生活に役立つ情報を、スマートフォンやPC、従来型携帯電話に数分後に通知するサービスです。東日本大震災が発生してから4ヶ月後の2011年7月にサービスを開始し、現在は、パソコンや従来型携帯

電話で使用できる「メール版」と、スマートフォンで使用できる「アプリ版」を提供し、「メール版」「アプリ版」あわせて700万人以上のユーザーに使用されています。

今回の連携では、「地震情報」、「津波予報」が利用できるようになりました。「地震情報」「津波予報」が「Yahoo!防災速報」から通知されると、「myThings」が動作し、IoT製品やWEBサービスの操作などを行います。

※ご参考：「Yahoo!防災速報」の公式サイト (<http://emg.yahoo.co.jp/>)

<活用の一例>

- ・ 電気やテレビなどの家電製品を操作できるリモコン端末「iRemocon」と組み合わせると、「『地震情報』が通知されたら、部屋の電気やテレビを自動でつける」という使い方が可能になります。これにより、夜中に地震が発生した場合でも、自動で家の電気とテレビがつき、安全確保と地震に関する情報取得が容易になります。

- ・ 地震後の二次災害として、火の元の消し忘れ、暖房器具の転倒、漏電などによる火災の発生が挙げられます。「『地震情報』を感知したら、火災防止のための行動をプッシュ通知で知らせる」という組み合わせを作っておけば、災害時にわざわざ調べることなく、手元にあるスマートフォンで対応すべき行動がすぐにわかります。

また、「『地震情報』を感知したら、必要な行動や情報を家族にメールする」という組み合わせをつくっておけば、あらかじめ家族間で決めておいた行動や非難場所について自動で通知することができます。

- ・ コミュニケーションロボット「BOCCO」やSHARPの製品群「ともだち家電」と組み合わせると、「『津波予報』が通知されたら、『BOCCO』や『ともだち家電』が発話して通知する」という使い方ができます。スマートフォン以外からも「津波予報」を知らせることができるため、利用者やその家族が「津波予報」を知る可能性を高められます。また、通知する際に避難場所もしゃべるように設定しておけば、どこに避難すれば良いかを伝えることもできます。

※「地震情報」は、地震発生後に気象庁から発信される地震情報を元に、「津波予報」は、気象庁から発令された津波警報／注意報を元に、組み合わせが実行されます。

※「myThings」で設定する内容によってプッシュ通知やIoT製品の操作などに時間がかかる場合があります。



「myThings」は現在、49種類のIoT製品やWEBサービスと連携しています。今後も連携する製品やサービスを増やし、ユーザーの利便性向上を目指します。